

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)について

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)について、以下のとおりとなります。

内容 可児市、八百津町及び御嵩町は、名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)について、「みなし上下分離方式による鉄道存続」の方針を持ち、令和9年4月からの移行を目指して、名古屋鉄道株式会社との協議を進める。

QA	Q1.	「名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)の運営に関する協定書」の協定期間が令和7年度末までとなっているが、令和8年度以降の鉄道存続が決定したということか。
	A1.	現時点で鉄道存続が決定したわけではない。
	Q2.	今後4者でどのような協議が行われるのか。
	A2.	4者においては、みなし上下分離方式とする場合の設備投資計画や上下の費用負担の考え方、運行期間等の詳細について検討・協議を進めていく。 3市町ではそれを踏まえた沿線3市町の負担割合、活性化に向けた計画の内容等を検討していく。
	Q3.	鉄道廃止・バス転換という可能性はなくなったのか。
	A3.	今後の協議によるため、可能性はゼロではない。
	Q4.	今までどおりの活性化の取組も継続していくのか。
	A4.	鉄道存続が決定すれば、今まで以上に鉄道の利用促進及び鉄道を活用したまちづくりに連携して取り組み、輸送人員の確保及び持続可能な地域づくりを目指す必要があると考えている。
	Q5.	みなし上下分離方式への事業構造の変更にあたり、鉄道事業再構築事業の活用を念頭にしているのか。
	A5.	鉄道事業再構築事業の適用を目指す。

以上